

# 講義のオープン化は、大学に 何をもたらすか？

重田勝介

東京大学教育企画室・大学総合教育研究センター

アカデミック・リンク・セミナー 第4回

「講義配信の極意」

# 重田勝介(しげた かつすけ)

- 経歴

- 大学教育の情報化・オープン化事業を担当
- UCバークレー客員研究員(2009)

- 専門

- 教育工学(教育現場における方法改善)
- 若手教員のキャリア開発・メンタルケアの実践研究

- 書籍

- 「デジタル教材の教育学」(東京大学出版会・共著)
- 「オープンエデュケーション(仮)」(東京電機大学出版会)

# 要旨

- 東京大学が取り組む「講義のオープン化」
  - 東京大学OCW・東大TV・iTunes U
  - 講義のオープン化がもたらす「知の公共性」
- 「講義配信の極意!?!」...Inside Lecture Capture
  - 講義コンテンツは、どう作られるか？
  - 組織体制・制作フロー
- 「教育のオープン化」は何をもたらすか？
  - オープンエデュケーションで変わる「教えと学び」
  - アカデミック・リンクの可能性

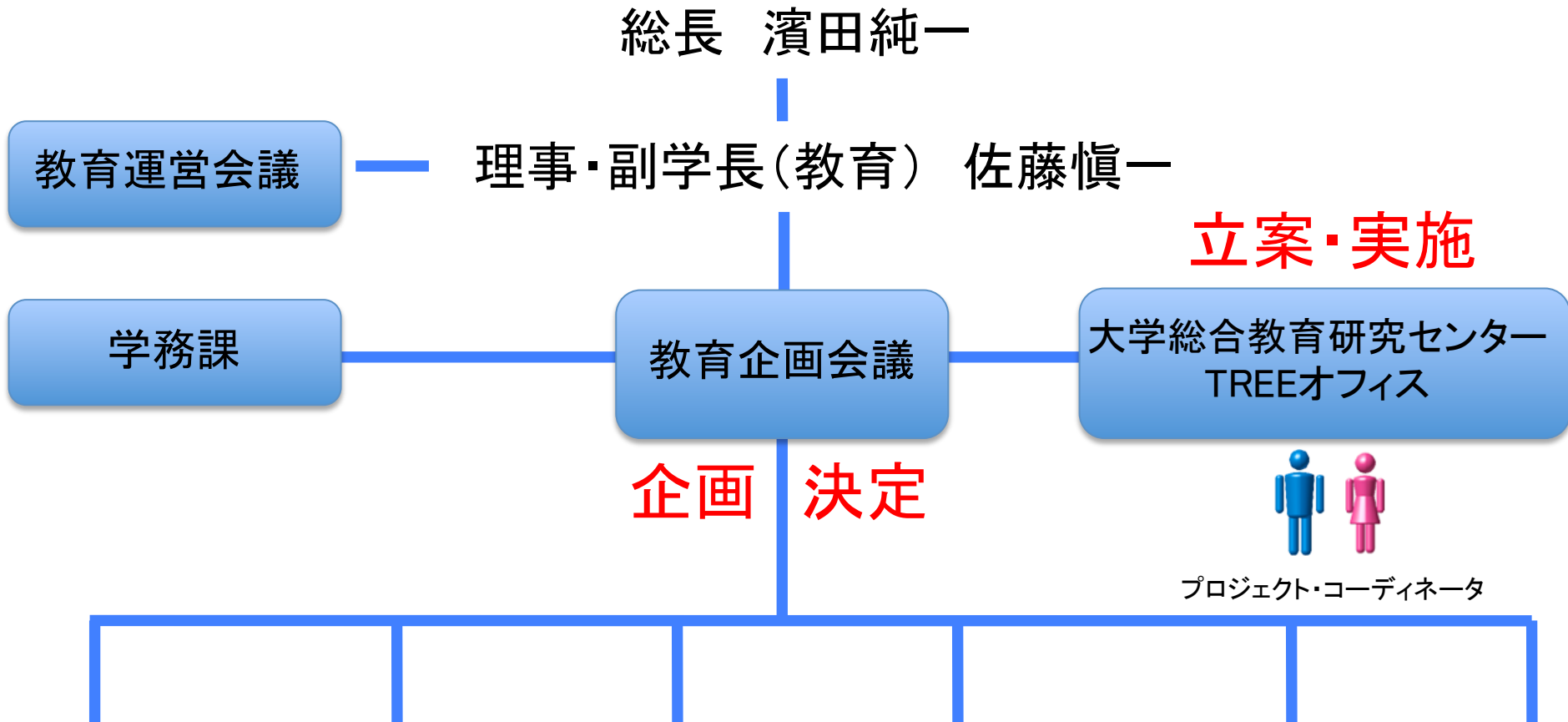
# 東京大学が取り組む「講義のオープン化」

# TREEプロジェクト

- 東京大学教育企画室におけるプロジェクト
- **T**odai **R**edesigning **E**ducational **E**nvironment
- 2005年7月スタート
- 全学的な教育環境リデザインの取り組み



# 全学推進体制



立案・実施

大学総合教育研究センター  
TREEオフィス



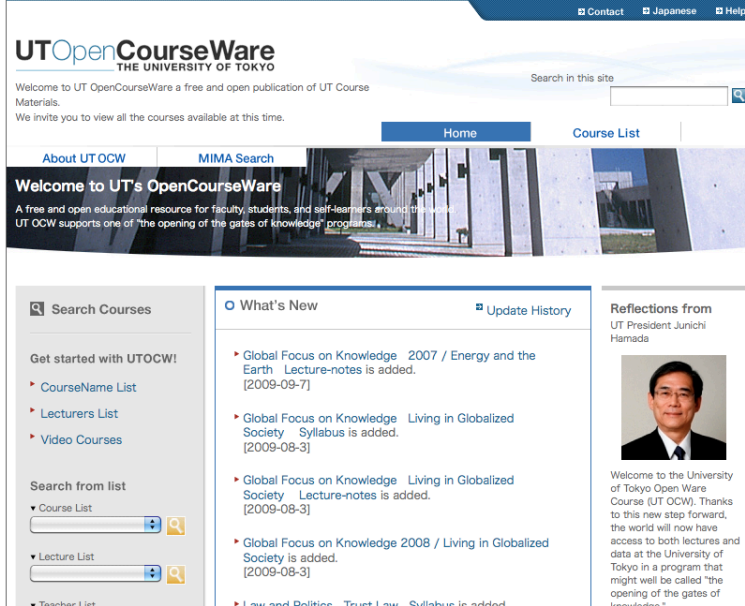
プロジェクト・コーディネータ

各学部、各研究科、教育部、研究所、センター...etc

各学部、研究科、教育部のニーズにしたがって推進

# UT OpenCourseWare <http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

- 正規授業を公開 日本語と英語（一部）
  - 学生、研究者、学外一般向け
  - 講義の一部にビデオを含む
- 公開数
  - 公開講義数：累計100講義
  - 参加講師数：172名
- アクセス
  - 月間150万ヒット
  - 月間5万人の訪問者



The screenshot shows the UT OpenCourseWare website. At the top, there is a navigation bar with links for 'Contact', 'Japanese', and 'Help'. The main header features the 'UT OpenCourseWare THE UNIVERSITY OF TOKYO' logo and a search bar. Below the header, there are navigation tabs for 'Home' and 'Course List'. The main content area includes a 'Welcome to UT's OpenCourseWare' message and a 'What's New' section with several announcements. On the right, there is a 'Reflections from UT President Junichi Hamada' section with a photo of the president. The left sidebar contains a 'Search Courses' section with a search box and a list of links for 'CourseName List', 'Lecturers List', and 'Video Courses'. There are also search filters for 'Course List', 'Lecture List', and 'Teacher List'.

# 東大TV <http://todai.tv/>

- 非正規講義(イベント等)を公開
  - 一般向け
  - 全ての講義にビデオ
- 公開数
  - 公開講義数: 101講義
  - 参加講師数: 117名
- アクセス
  - 月間300万ヒット
  - 月間5万人の訪問者



The screenshot shows the TODAI TV website interface. At the top, there is a navigation bar with the University of Tokyo logo and the text 'TODAI TV'. Below this is a search bar and a menu with items like 'トップページ', 'TODAI TVとは?', 'コンテンツリスト', 'ポッドキャスト', '総長からのご挨拶', '開発チーム紹介', '利用条件', and 'プライバシーポリシー'. The main content area features a video player for a lecture titled '報告「東京大学における学習環境デザイン」' by 山内 祐平 先生. To the right of the video player is a text block describing the lecture's focus on learning environment design. Below the video player are navigation buttons for '新着コンテンツ', '公開講座', 'イベント', '学部一覧', '講師一覧', and 'PAGE'. The bottom section contains three columns of information: 'お知らせ' (News) with a list of recent lectures, '東大ポッドキャスト' (Podcasts) with a 'TODAI Podcast' logo, and '総長からのご挨拶' (Message from the President) with a photo of the president.



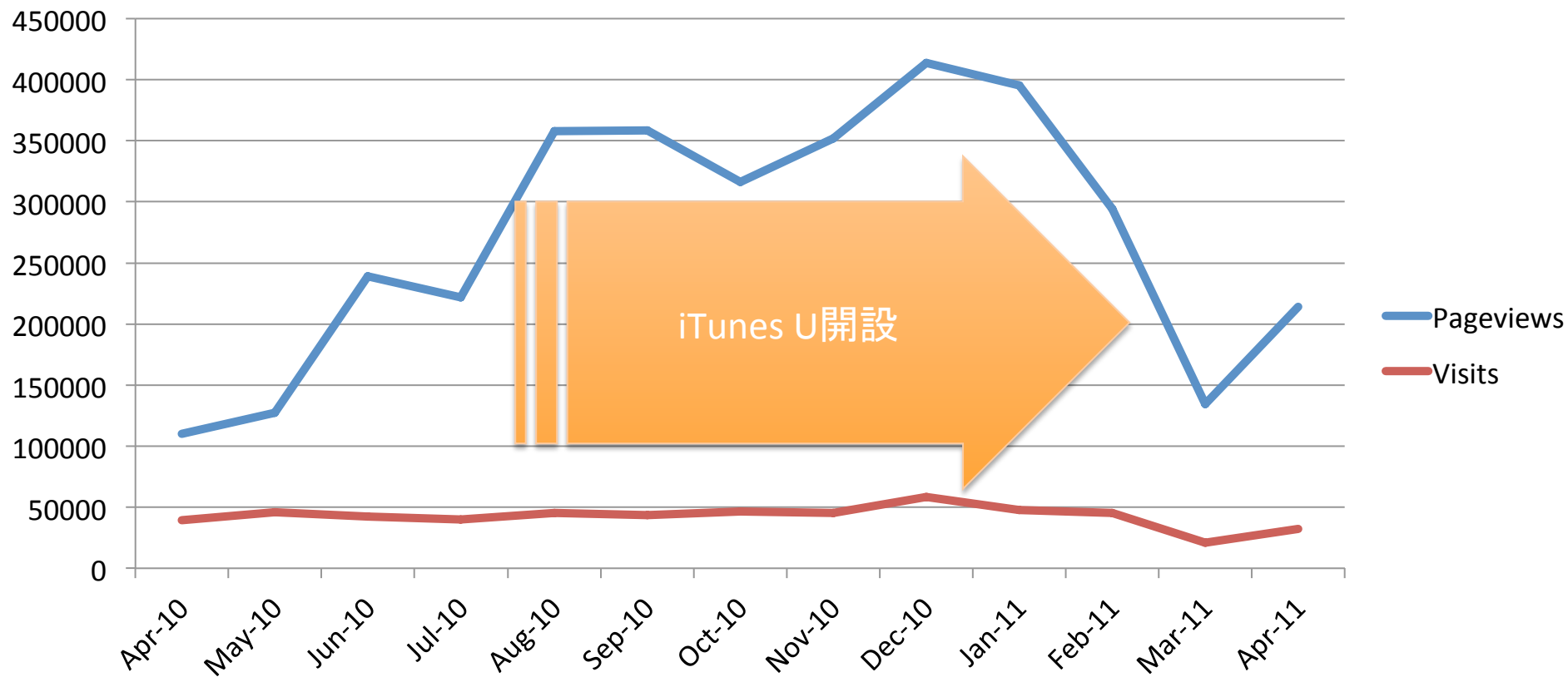
# 東京大学 iTunes U



The screenshot shows the iTunes U interface for The University of Tokyo. At the top, there is a blue banner with the university's logo and name in Japanese (東京大学) and English (THE UNIVERSITY OF TOKYO). Below this is a large image of a tree-lined path with the text "森を動かす。世界を担う知の拠点へ" (Moving the forest. A base of knowledge that bears the world). A paragraph of Japanese text follows, explaining that the iTunes U content is a collection of various videos from the university, including lectures and seminars, and is available for free. Below the text is a section titled "おすすめコンテンツ" (Recommended Content) with a sub-header "1-6 / 11 全て見る >". This section displays four video thumbnails: "マイケル・サンデル" (Michael Sandel), "駒場祭 2010" (Kojima Festival 2010), "東京大学 駒場祭..." (The University of Tokyo Kojima Festival...), and "先端物理学国際講義" (Advanced Physics International Lecture). Each thumbnail includes a "無料精読" (Free Preview) button. To the right of the recommended content is a "ナビリンク" (Navigation Links) section with options to "友達に教える" (Teach friends), "リンクをコピー" (Copy link), "Facebookで共有" (Share on Facebook), and "Twitterで共有" (Share on Twitter). Below this is a "カテゴリ" (Category) section.

- UT OCW、東大テレビのビデオ講義を公開

# iTunes U参加によるOCWアクセス増



# ICTを活用した教育機会の

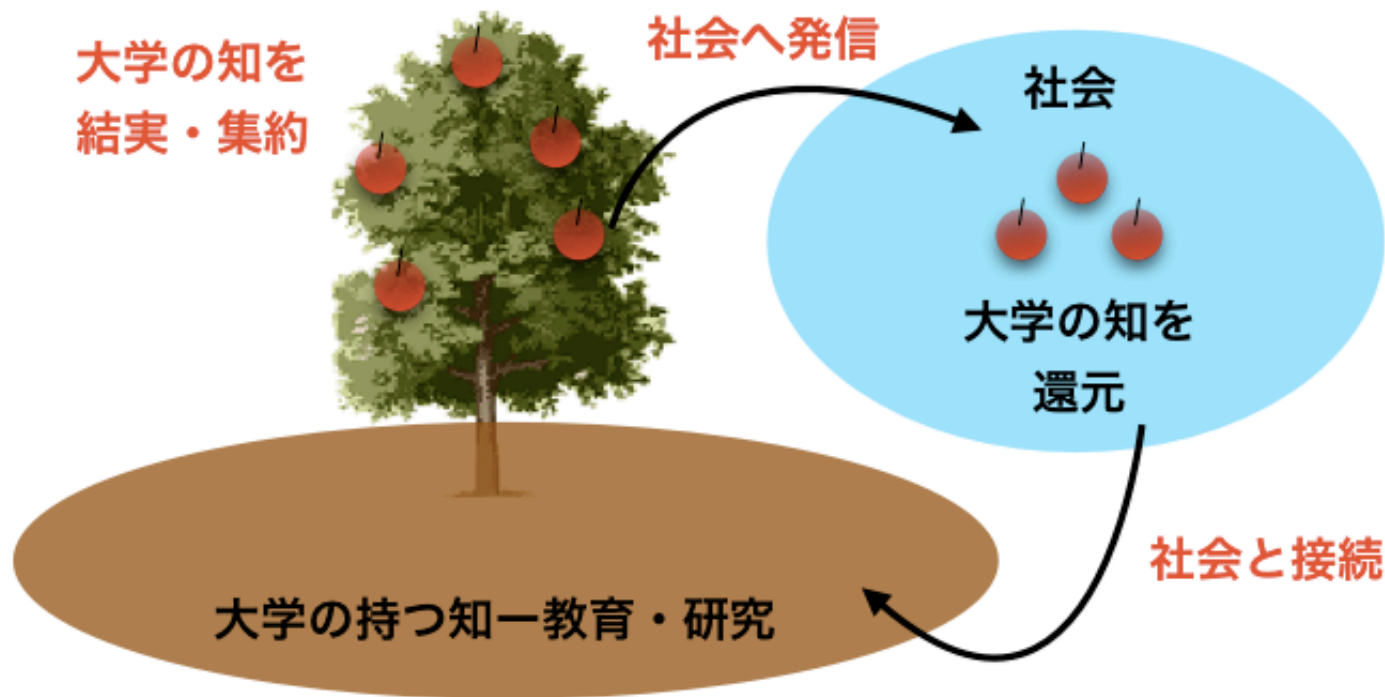
## オープン化: 東大ナビ <http://utnav.jp/>

- 学内の教育イベント情報を配信
  - 隔週メールマガジン
  - QRコードで登録
  - 学内のイベント情報を集約
- 学生をターゲットに携帯電話を活用
  - 携帯サイト
  - メールマガジンに任意登録
  - メールマガジン会員にクーポン配布
- 7500名超の登録者
  - 学部生の半数が登録



# 「講義のオープン化」がもたらす 「知の公共性」

- 学内外を接続する「知のサイクル」
- 大学が社会の中で担う持続的な役割へ

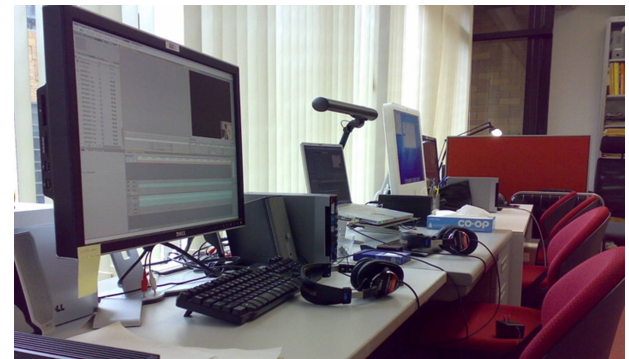


# 「講義配信の極意!？」

## -Inside Lecture Capture-

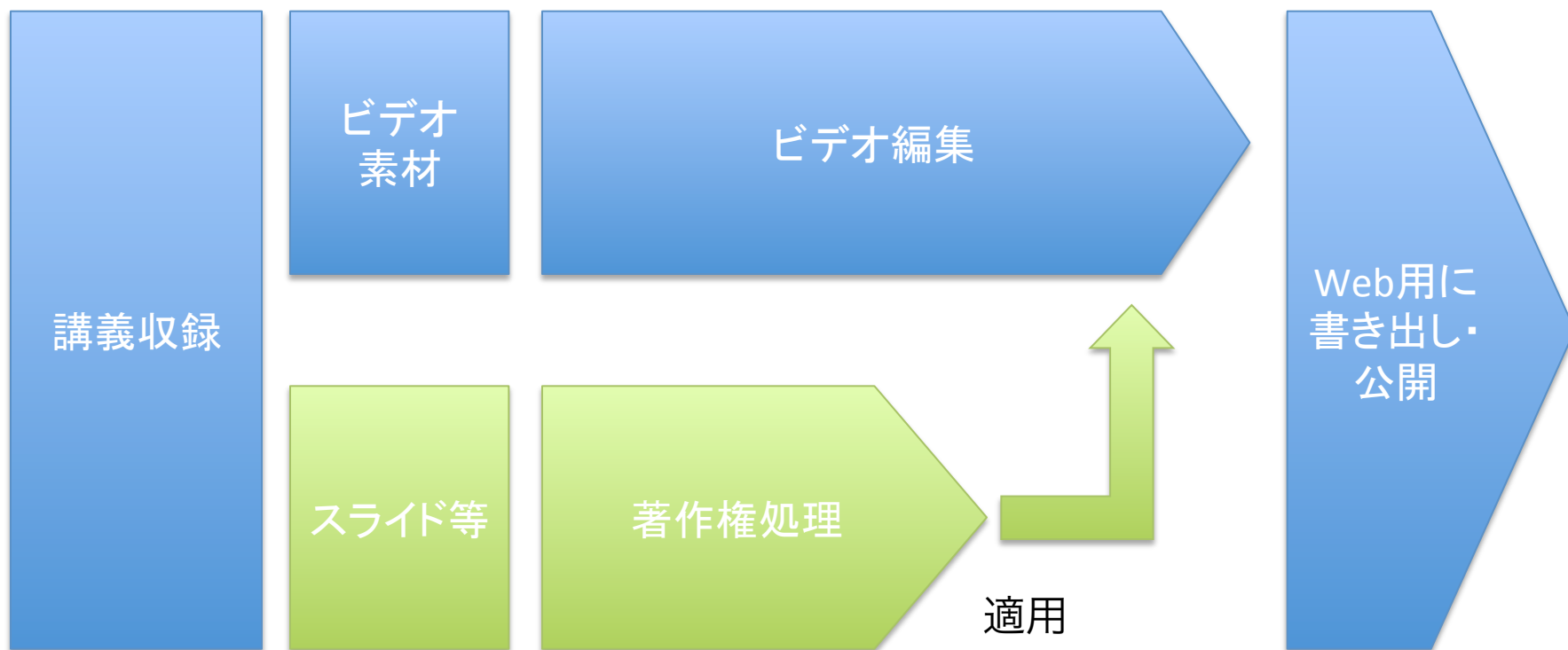
# 開発・運営体制

- 著作権処理部門
  - 講師・各部局を代理
  - 著作者に問い合わせて処理
  - 学生スタッフ(8名)
- コンテンツ開発部門
  - 講義収録
  - Web公開用に編集
  - 著作権処理を反映
  - 学生スタッフ(8名)

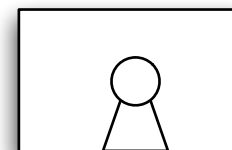
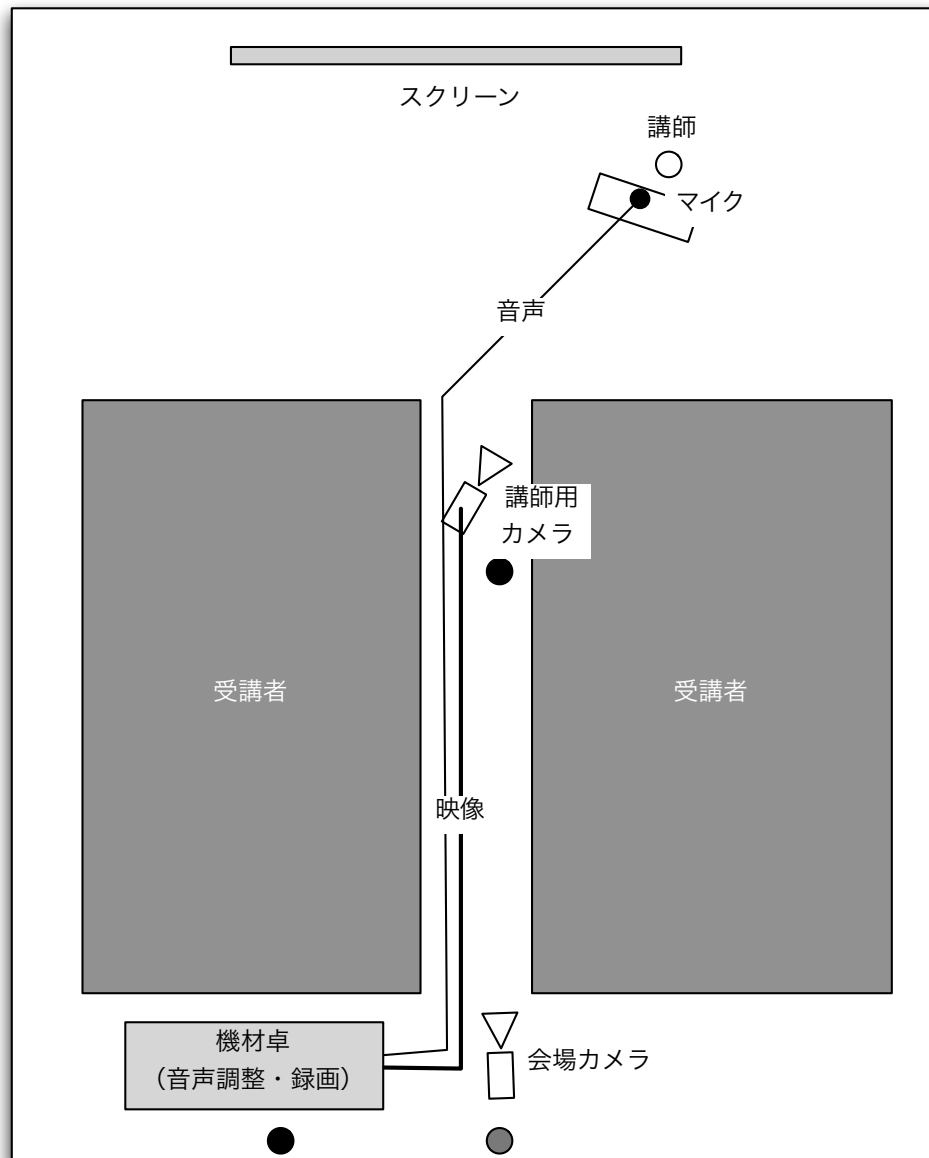


# 開発フロー

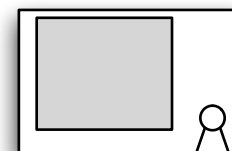
- 2部門が連携・協調



# 教室の機材配置



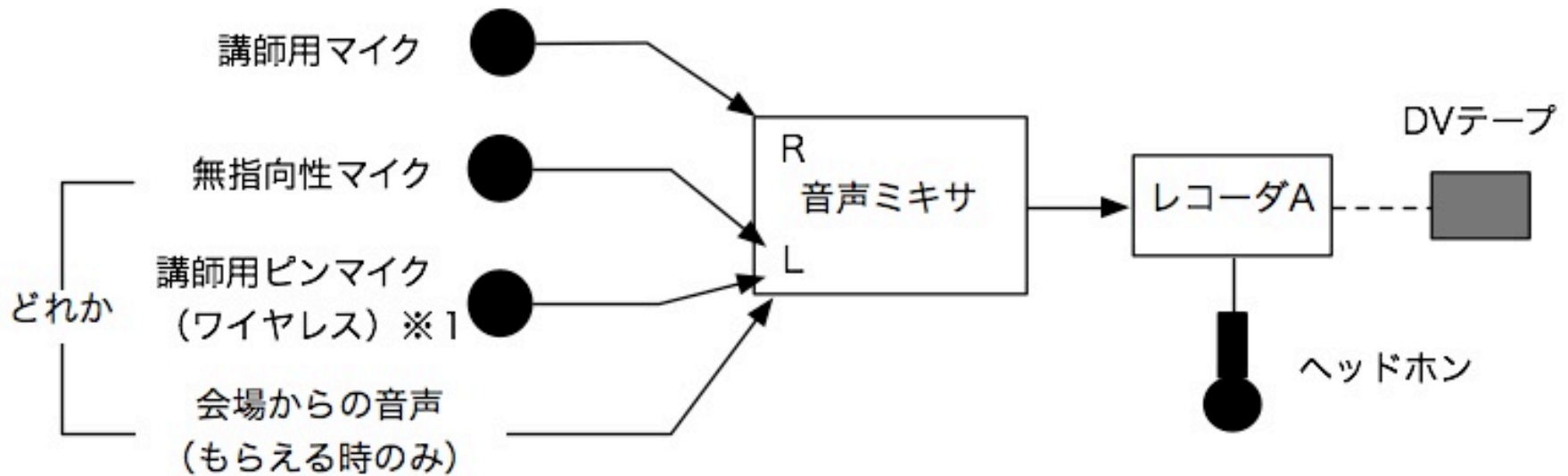
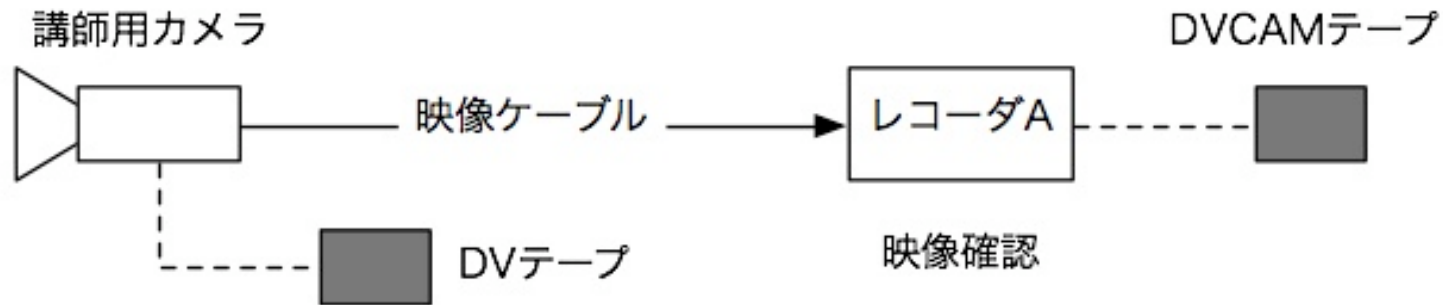
講師用カメラの画



会場カメラの画

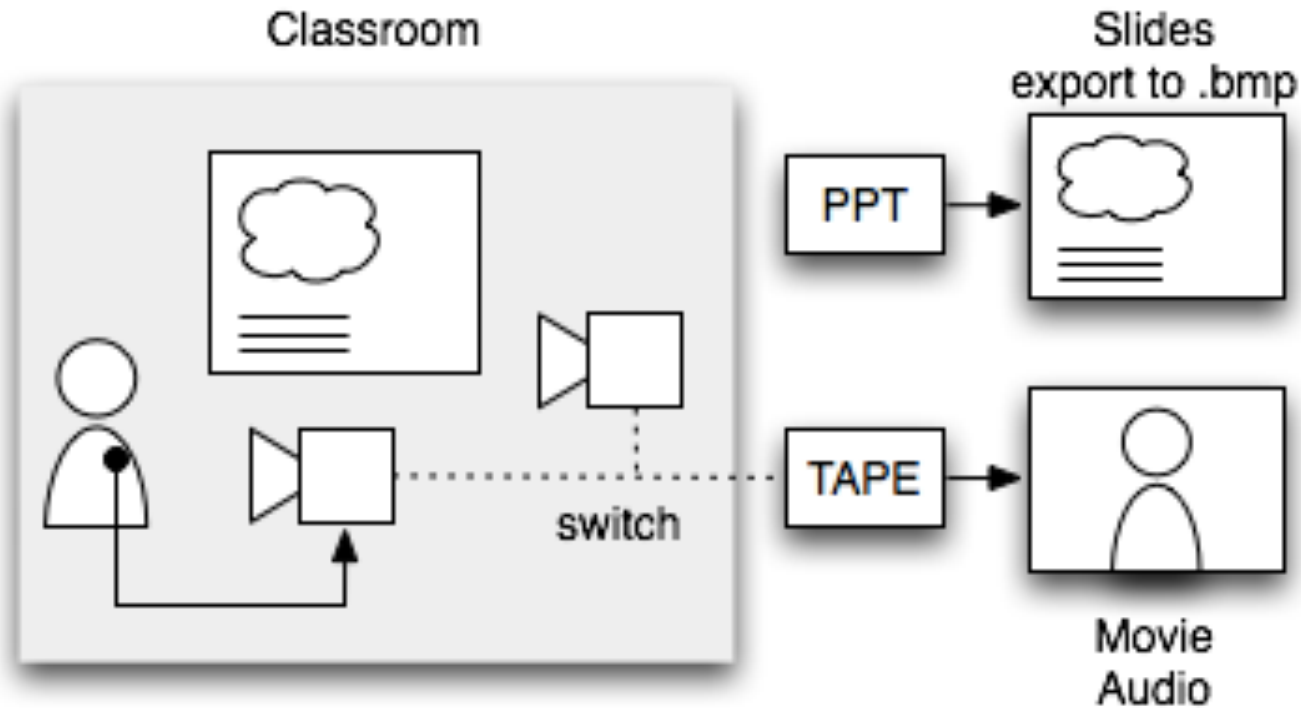


# 機材配線

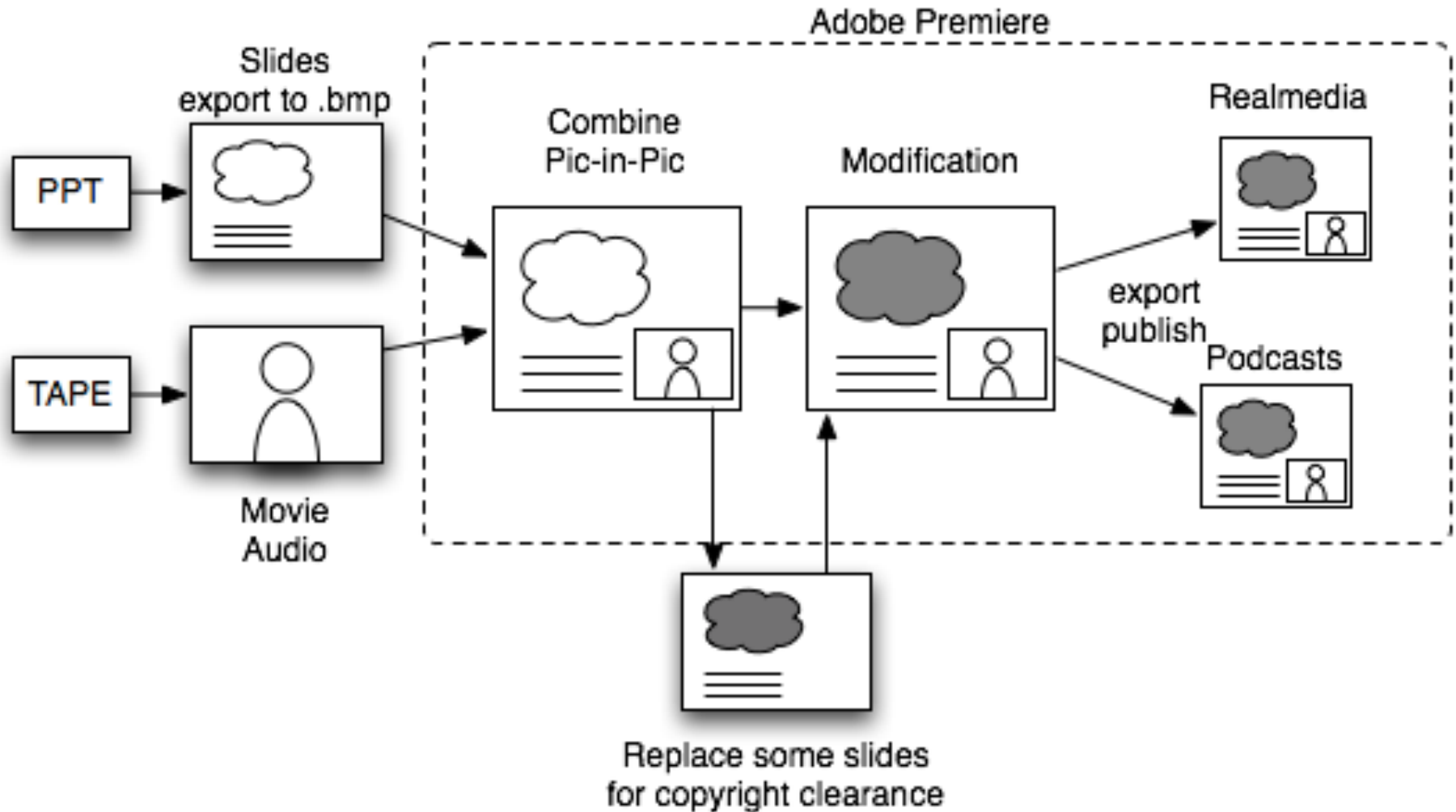


※1 会場（付近）でワイヤレスを使っていない時のみ

# ビデオ制作フロー(1)



# ビデオ制作フロー(2)



「教育のオープン化」は何をもたらすか？

# 「オープンエデュケーション」とは

- 教育機関や教育活動をする個人が、教材や教育機会へのアクセスを広く設ける（オープンにする）こと
  - インターネットなどのテクノロジーを介した活動を指すことが多い
- 以下のような活動が含まれる
  - オープンな教育リソース(OER)の開発・公開
  - オープンアクセス(学術情報や学術雑誌の公開)
  - 公開講座・公開授業など、開かれた教育や学びの場を持つこと

# オープンエデュケーションの「理念」

- 社会貢献活動として
  - 教育機関の持つ「知」を、教育の機会を持っていない人々にもアクセス可能に
  - 国際「教育協力」
- アクセシビリティの確保
  - 大学の「知」を、社会に多様な形で還元する
  - アカウンタビリティ
  - 社会の中の、公共財としての大学

# オープンエデュケーションの「実利」

- リクルーティング
  - 入学志望者に大学の教育活動を、予期的に知らせる
  - MIT の調査：新入生の35%が、大学を選ぶときにOCWを知り、大きな影響を持ったと回答
- グローバル対応
  - 英語での公開 海外における存在感向上
- 質向上とコスト削減
  - オープンソースソフトウェアに通じる利点
  - 米国における電子教科書プロジェクト

# 今後予期されること

- 「教育プラットフォーム」の台頭
  - 教育リソースを公開するサービスが、教育機関やその外から提供され、使えるようになる
  - OCW、iTunes U、YouTube EDU
- 「グローバル・プロフェッサー」の出現
  - 大学の枠を超えて活躍(マイケル・サンデル)
- 「フリーエージェント」な学び・教え
  - 教育機関に属することなく、学べる・教える
  - フリーエージェント・ラーニング



# 展望:「教育のオープン化」が もたらす「学びと教えのフラット化」

- 「オープン化」の理念と実利
  - 知の公開に貢献しながら、メリットを享受
  - 社会からの後押し(寄付や財団による補助)
- グローバル化する「学びと教え」
  - 国境や教育機関の垣根がない学習環境
  - 誰でも「学び」「教え」られるプラットフォーム
- 大学の価値を高める「オープン化」とは？
  - 大学の存在理由の再考・再発見
  - 多様な答えへ

# アカデミック・リンクの可能性

- 「学びのハブ」としての図書館
  - 「学びと教え」に携わる人々の集まる「場」
  - オフラインで人々のつながりが可視化される
- つながりを「媒介」するオープンな教材
  - 図書館限定公開教材：著作権処理の簡素化
  - 利用履歴・学習履歴によるレコメンデーション
- 課題
  - オープンな教材の制作・蓄積・構造化
  - 人的支援(Teaching Assistant/Facultyの活用)

# 講義のオープン化は、大学に 何をもたらすか？

重田勝介

東京大学教育企画室・大学総合教育研究センター

Twitter: shigejam

URL: <http://shige.jamsquare.org/>